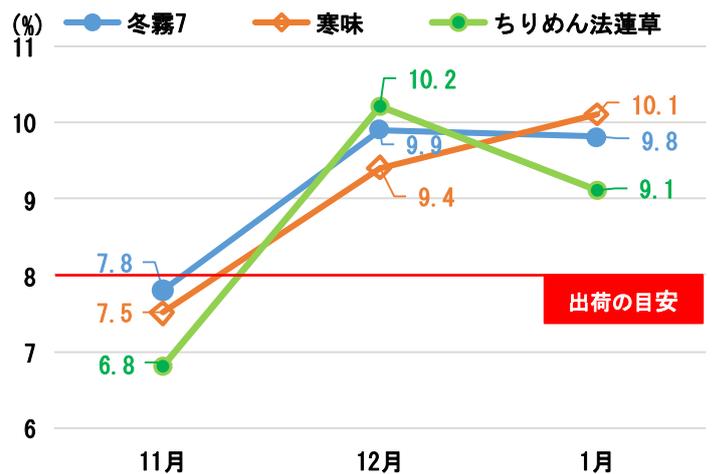
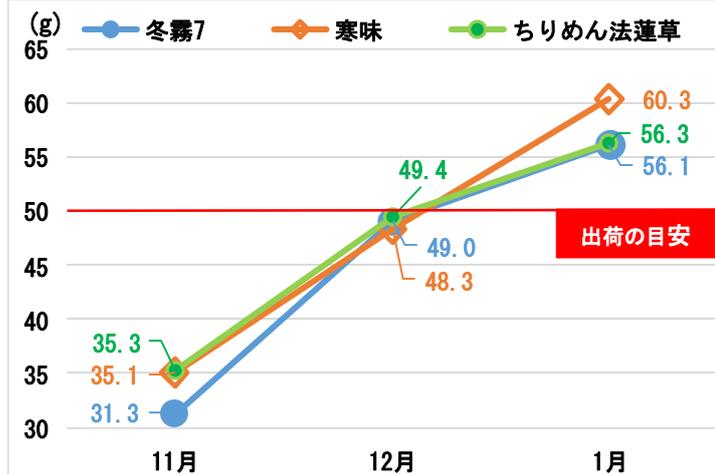


## 背景・目的

寒締めほうレンソウ栽培を行う生産者への情報提供のため、令和3年度の気象条件下での寒締めほうレンソウの生育状況を確認し、結果をまとめました。

## 結果

播種：R3.9.15（406穴育苗用紙筒へ1穴1粒播種）  
定植：R3.9.30（本葉2枚期）  
調査日：①R3.11.24, ②R3.12.22, ③R4.1.19



一株重の推移

糖度の推移

- 健全発芽率は、‘冬霧7’‘じっくり朝霧’‘寒味・極’が90%を超え、発芽のそろいも良好でした。
- 11月の調査では、出荷の目安とした、調製後一株重50g、糖度8%を満たした品種はありませんでした。
- 12月の調査では、調製後一株重50gを超えた品種はありませんでしたが、糖度は‘寒味・極’以外の品種で8%を超え、‘冬霧7’‘寒味’‘ちりめん法蓮草’は9%を超えました。
- 1月の調査では、全ての品種で出荷目安の重量と糖度を超えました。‘冬霧7’の糖度は9.8%で、‘寒味’‘雪味菜02’では10%を超えました。



健全発芽率及び全収穫調査結果の平均

品種	健全発芽率 (%)	調製後一株重 (g)	調製後収量 (kg/a)	糖度 (Brix%)
冬霧7	93	45.5	202	9.1
寒味	75	47.9	213	9.0
ちりめん法蓮草	88	47.0	209	8.7
じっくり朝霧	90	40.5	180	8.3
寒味・極	91	50.0	222	7.5
雪味菜02	62	45.1	201	8.5

## 結果の活かし方

寒締めほうレンソウとしてのバランスが良く、最も当地での栽培に適していた品種は、市内で最も栽培されている‘冬霧7’でした。

‘寒味’‘ちりめん法蓮草’は‘冬霧7’よりも健全発芽率が劣るものの、収量及び糖度は同等で、当地の栽培に適した品種であると考えられました。